



## 知覚動考(ともかくごこう?) よし、・・・やってみよう!

4月に「ちょっとした努力」(自分がやってみようと思える努力)を積み重ねて欲しいと話しました。しかし、新たなことをやろうとした時に、うまくいかないことの方が多いものです。そこに、もう一押し! 「知覚動考」(ちかくどうこう)という仏教用語で、禅の言葉を送ります。

昔から力を発揮する人、成功をおさめる人は、この「知覚動考」が身についていると言われていいます。成功者と言われる人のパターンは、「知って、覚えて、動いてから、考える。」というパターンが多いようです。「やってみた方がよさそうだ!」と思えることを知ったら、すぐに覚えて、行動するのです。そして、「やってみてどうだったか」を考えるわけです。行動してみて初めて分かることは、意外に多いものです。多少不安があったとしても、勇気を出してやってみたいことに動き出せる子供になってほしいと思います。

先日、6年生が校長室まで来てくれたので、紹介します。

6年生の班長数人が、校長室に来ました。「1年生と6年生の交流を考えています。コロナ感染症対策も考え、1年生と一緒に楽しめる遊びを計画してきました。」と言うのです。鬼ごっこ、ケイドロ、だるまさんが転んだ、クイズ、ゲーム等をそれぞれの班で考えたようです。

コロナ禍以前には行えた1年生との交流を知って、自分たちも1年生と仲良くなりたいと企画してくれた取組です。6年生が校長室に来た時「1年生が理解できるように見本を見せるなど、説明を工夫して交流してください。」と話しました。



## <5月の活動より> 「がっこうしょうかい」

2年生が、お兄さん、お姉さんとして、1年生に学校のいろいろな部屋を紹介しました。特別教室や職員室の他、校長室にも来て、やさしく説明をしていました。その時の2年生は、いつも以上に頼もしく見えました。



## 育友会総会(書面審議)のご報告

書面審議にご協力いただきありがとうございました。

すべての議案について、承認いただきました。

今後の役員選出方法について等、いただいたご意見については、実行委員会で協議していきます。引き続き、育友会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。